

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

4141 中島参事官がハレン参事官会談

極秘

北米局長

参事官

北米課長

商務局長
経済

中島 ガーレン 会談 について

(4.4.11.)
米比

本11日午後 ガーレン参事官は中島参事官を筆頭
旅券問題等について会談した。電音次の通り

4. (技術. 渡辺 R. フランス 乗取 同席)

1. 米比 旅券問題について 先ず 日本側がわか
る場合においても 米政府の 輸入域許可を得る

者には 旅券の 発給 ^{意向} について R. 個人々々として
米側の 要請が 米比 渡辺先入りに 政治的考
白制限

意 ^{同意} 行方 ^に 条件 ^に 米比 日本側がわか
る場合においても 米政府の 輸入域許可を得る

旨を述べた上、本日の最終的合意に達しない限り、本

米政府から 渡辺輸入域の 規制のため すべき指
示を決定し 行方 米比 渡辺先入りに 政治的考

部に 渡辺先入りに 政治的考 米比 渡辺先入りに 政治的考

に 渡辺先入りに 政治的考 米比 渡辺先入りに 政治的考

米比 渡辺先入りに 政治的考 米比 渡辺先入りに 政治的考

米比 渡辺先入りに 政治的考 米比 渡辺先入りに 政治的考

米比 渡辺先入りに 政治的考 米比 渡辺先入りに 政治的考

米比 渡辺先入りに 政治的考 米比 渡辺先入りに 政治的考

「潜在的権利」を留学取直を確保し、か
の者に対する外交的保護に因り当分の内に

答えて、沖繩外に在る沖繩住民の保護に因りては、
当人の希望に従ひ、日本のウチカが双方が当

るべきところと述べた。

2. 7月に先ず、沖繩住民の保護の課題に

7月2日日本側の返答を述べ、先ず、当
方より、韓土、沖繩、北米の海外在住産業国及び

海外在住協会

琉球海外在住公社の事業等々説明の上、内題
は、韓土及び公社の間の調整に因りて両者の
協会

間には、互に接触を有利、技術的に解決し、内
題に因りて考へる旨を答へた。

5月末位迄に

3. 7月に先ず、安井長官は、~~琉球~~ 琉球に在る
協誠会を設けた上、訪沖し、その希望の由

に好旨を述べた上、次田協誠会の時期に因りて
詰合、だが、安井長官の希望、ワトソン高等弁務官

の帰化予定、等々の課題内容等から、4月25
日前後又は5月9日前後を一応の目標とし、

更に双方で検討する所と述べた。

4. 最後に先ず、赤十字 ~~協誠会~~ 内題に因

り、日赤本誌に因り、基本に、日赤の名前を沖
赤かとする。また、日赤から沖赤に何等の援助を

互にその事実の同信を持つては、等々の同意
同に好旨を述べ、先ずは、事件は沖赤か

USCAR, GRIに提起する所が、沖赤が現在受
けらるる財政的援助を将来も受け得るという地位から

も適当であるとする旨を答へた。